

令和8年3月臨時会あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会3月定例会を招集しましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

今年に入り、日本列島では、記録的大雪を観測するなど、厳しい寒さ襲う日もありましたが、ここ数日は暖かい日が続き、いよいよ春の到来を感じる季節となりました。桜の開花につきましても、現時点では例年より少し早い3月20日ごろと予測されており、10回目の節目を迎えるひさやま猪野さくら祭りにおいても、見頃を迎えることが期待できます。町内外の多くの皆さまに、久山町の自然風景を楽しんでいただけることを心から楽しみにしております。

さて、2026年が始まり、国内では、衆議院の解散に伴い、2月8日に衆議院議員総選挙が実施されました。今回の選挙の投票率は、前回は上回り、国民の関心の高さがうかがえる選挙もありました。結果としましては、自民党が単独で定数の3分の2を超える歴史的な勝利を収め、第2次高市内閣が発足することとなりました。高市総理の積極財政が本格的に進められ、物価高騰、経済対策など、国民の生活に直結する政策が加速することが予測されています。

そのような中で、令和7年度を振り返ってみますと、日本全体においては、賃上げの加速、国内投資も高い水準で行われ、失われた30年からの脱却を期待するニュースが多くありました。一方で、続く物価高騰の影響で、国民の暮らしについては、未だ回復に至っておらず、格差社会が進んだ1年でもあったと感じています。

本町においては、そのような状況を踏まえ、住民の皆さんに必要な取り組みを国の事業だけでなく、町独自の取り組みとして展開してきました。

まず、健康福祉の分野では、シニアチャレンジ応援事業を実施し、今年1月末までに、延べ

1万1,622人に2万9,004回と、前年比の1.3倍、ご利用いただきました。今年度新たに始めたおかわりクーポンも、1月末までに334人の方に申請いただいております。シニアの皆さまの外出支援だけでなく、商工振興にも大きく寄与する事業となっています。

教育の分野では、新たに両小学校の4年生を対象としたキッズニア体験や、ICTコンテスト、中学校放課後数学塾や中学校図書室を活用した受験応援スタディルームの開室を実施することで、子どもの学びの機会を増やしてまいりました。

また、産業の分野では、ドローンを活用した農薬散布の費用などを助成するスマート農業推進助成事業や、久山産木材の活用に向けた町産材利用促進助成事業を始めました。さらに、子育て世代へのお米券配布事業も実施し、982件に配布することで、町内の農業、商工振興にもつなげることができました。

財政面においても、町税、ふるさと応援寄附金は昨年度並みに、歳入を見込んでおり、一般会計全体としては、1億7,000万円ほどの基金積立てを行う予定です。

町の将来像の実現に向けて着実に事業を進め、次年度につながる1年となりましたこと。改めて、議会の皆さまのご協力に感謝を申し上げます。

次に、令和8年度予算の編成方針についてお話をします。令和8年度は、久山町町制施行70周年という節目を迎えます。久山町がこれまで残してきた。人と人との温かいつながりやを深めながら、町の資源が好循環する、ウェルビーイング「幸福度」の高いまちづくりを着実に進めてまいります。

令和8年度の久山町一般会計当初予算は、歳入歳出の予算総額をそれぞれ73億1,000万円とし、令和7年度より、4億1,000万円、5.9%の増となっています。国県支出金等のほか、町の基金を活用しながら、物価高騰対策及び投資的事業を同時に行っていく予算編成です。

歳入においては、固定資産や町民税などの税収で若干の増額を見込んでおり、ふるさと応援寄附金は令和8年度も増額する見込みで計上しています。

歳出においては、物価高騰対策として、引き続き、ごみ袋の全世帯配布、水稻農業物価高騰対策支援、プレミアムつき商品券の配布を実施してまいります。

また、町制施行70周年に際し、10月4日予定の記念式典ほか、70周年記念事業費の予算を計上しております。

暮らしの分野については、みんなでつくる公園づくりとして、町民の皆さんと一緒に計画した役場下の総合グラウンド公園の工事を開始するとともに、教育の分野では、今年度から、首羅山遺跡ガイダンス施設整備を開始し、造成工事、施設の建築を進めてまいります。

また、本年4月からは、小学校給食の無償化を実施し、国県の補助金で不足する分につきましては、町の一般財源を充当してまいります。

そして、中学校における給食導入については、2学期から現在の選択制ランチサービスをやめ、弁当を全員に配布する、完全給食を実施する大きな判断をいたしました。これは、アレルギーや中学校の時制の課題、全員給食を望む保護者の声、給食室の建築・ランニングコスト、国の中学校給食無償化の動向などを熟考した結果であり、将来的には町産のお米や野菜などの農産物の使用を見込んでいます。地産地消に寄与することのできる点も含め、この方法が久山町の未来にとっても最善の選択であると、私は判断しております。

なお、費用については、物価高騰などによる値上がりもありますが、当面、1食当たり600円を想定しており、保護者負担を300円、不足分は町が負担します。

そのほか令和8年度も社会、経済情勢、国の動向に注視しながら、必要な政策については柔軟に対応してまいります。

最後になります。先日、山田小学校6年生が総合的な学習の時間で製作している歴史絵本が完成し、お渡し会が開催されました。この取り組みは、注目度が高く、毎年、テレビ、新聞等、多くの取材を受けています。

今年度、子どもたちが取り組んだ絵本の題材は新幹線で、久山町の歴史を学びながら、「わたしたちの久山と未来をつなぐ新幹線物語」を製作してくれました。開通50周年を迎えた山陽新幹線の1番列車に、町民が500人以上乗って東京に向かったこと、到着後、東京で久山音頭を披露したことなどで、当時、参加した住民の方に直接聞いた内容もていねいに盛り込んであり、町の歴史を残して伝える、とてもすばらしい内容となっています。

絵本の最後の言葉「未来へつなぐ夢のレール」。とても感動しました。私たちの先人たちが努力し、つくり上げた久山町の歴史を感じるとともに、未来に向けて今を生きる私たちがバトンをつないでいくこと、その重要性を改めて認識する機会となりました。

今後も、町民の皆さんの夢や希望があふれるまちづくりを行うことで、未来の可能性を広げていけるよう、邁進してまいります。

引き続き、議会の皆さまには、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、3月議会に提案しますのは、人事案件、条例改正制定、令和7年度補正予算、令和8年度当初予算等21議案でございます。詳細につきましては担当課長が説明いたしますので、ご審議のほど重ねてお願い申し上げます。

令和8年3月3日

久山町長 西村 勝